

# 宇都宮市立 宝木 中学校 第2学年 生徒質問紙調査

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 自分は、家族の大切な一員である。92.8%(県;87.9, 市;89.4)各家庭での自己の存在感が高く、明るい性格に表れている。
  - 早寝・早起きを心がけている。74.8%(県;67.5, 市;69.1)基本的な生活習慣が身につけている生徒が多い。
  - ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。93.7%(県;90.4, 市;90.8)
  - 疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい。69.1%(県;63.0, 市;64.3)ものごとを最後までやり遂げたり、成功したりした体験を持っている生徒が多く、探求心が高いことがわかる。
  - 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である。45.9%(県;39.3, 市;39.9)
  - 人と話すことは楽しい。94.6%(県;92.1, 市;92.7)
  - 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている。93.7%(県;86.4, 市;87.6)
  - クラスは発言しやすい雰囲気である。85.6%(県;76.3, 市;75.6)友人との関係が良好な生徒が多く、雰囲気も良いことがわかる。また、話をしたり、自分の考えを発表することに対する意欲が高い。
  - 授業で分からないことがあると先生に聞くことができる。74.8%(県;66.6, 市;69.9)先生方への信頼度が高く、関係がよいことがうかがえる。
  - 家で学校の授業の予習をしている。52.3%(県;44.0, 市;45.5)
  - 家でテストで間違えた問題について勉強している。72.1%(県;66.7, 市;68.7)
  - 次の教科の学習は好きですか。英語68.5%(県;62.5, 市;63.2)学習意欲は高いが、教科によって大きな差があり、特に英語への興味・関心は高い。
  - 将来の夢や目標を持っている。57.7%(県;73.8, 市;72.5)進路指導等の充実を図る必要がある。
  - 授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい。68.5%(県;62.4, 市;67.1)話をしたり発言することには積極的な生徒が多いが、自分の考えを文章に表すことが苦手な生徒が多い。
  - テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている。77.5%(県;84.9, 市;84.1)
  - 難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している。64.9%(県;65.7, 市;67.3)
  - 学級活動の時間に友達同士で話し合っクラスの決まりなどを決めていると思う。78.4%(県;85.7, 市;85.7)
  - 家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている。54.5%(県;57.2, 市;61.4)
  - 漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは、辞書を使って調べている。49.5%(県;60.7, 市;61.7)
  - 自然や宇宙など、科学の内容を扱っているテレビを見たり、本を読んだりするのは好きだ。53.2%(県;62.5, 市;64.8)
  - 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかを考えている。35.1%(県;47.6, 市;49.1)
  - 次の教科の学習は好きですか。理科43.6%(県;66.6, 市;67.4)
- 与えられたことに対しては、取り組もうとする意欲が感じられるが、新たな世界に飛び込んだり、自分から工夫して学習するなどの行動に欠ける点が見られ、特に理科の学習については、興味・関心が低く、苦手なことや興味・関心の低い事柄でも、探求心をもって取り組むことができるように指導を工夫していきたい。

## 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
◎思考力や判断力、表現力等を育成する言語活動の実践	(1)『分かる授業』の推進 ①「本時の目標(めあて、ねらい)」をつかむことのできる明確な提示	○授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されている。92.8%(昨年度の本校87.8%よりも5ポイント高い。) ・(県93.9%よりも1.1ポイント低い。宇都宮市91.4%よりも1.4ポイント高い。)
	②効果的なノートを活用	○授業で使うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いている。82.0%(昨年度の本校61.7%よりも20.3ポイント高い。) ・(県83.7%よりも1.7ポイント低い。宇都宮市78.5%よりも3.5ポイント高い。)
	③話し合い活動の積極的な導入	○授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている。84.7%(昨年度の本校75.4%よりも9.3ポイント高い。) ●(県88.0%よりも3.3ポイント低い。宇都宮市85.5%よりも0.8ポイント低い。)
	④生徒の考えを引き出し、思考を深められる(主体的に考えられる)発問の工夫	○クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。83.8%(昨年度の本校73.9%よりも9.9ポイント高い。県80.6%よりも3.2ポイント高く。宇都宮市81.5%よりも2.3ポイント高い)
	⑤「ふりかえり」活動の徹底	○授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている。73.9%(昨年度の本校44.3%よりも29.6ポイント高い。県63.7%よりも10.2ポイント高い。宇都宮市60.1%よりも13.8ポイント高い。)

◎家庭学習ノートの活用など、家庭学習の一層の充実	(2) 家庭学習の習慣化 ①意欲や目的をもって取り組める宿題吟味, 工夫	○学校の宿題はやりたくなる内容だ。49.1%(昨年度の本校34.8%よりも14.3%高い)(県44.1%よりも5.0ポイント高い 宇都宮市41.9%よりも7.2ポイント高い) ●学校の宿題は自分のためになっている。85.6%(昨年度の本校89.6%よりも4.0ポイント低い。県88.9%よりも3.3ポイント低い。宇都宮市88.9%よりも3.3%低い。)
	②家庭学習の充実	○家の人と学習について話をしている。84.7%(昨年度の本校77.4%よりも7.3ポイント高い。県77.4%よりも7.3ポイント高い。宇都宮市82.4%よりも2.3ポイント高い。) ●家で、学校の宿題をしている。94.6%(昨年度の本校96.5%よりも1.9ポイント低い。県94.8%よりも0.2ポイント低い。宇都宮市95.8%よりも1.2ポイント低い。) ●家で、計画を立てて勉強をしている。66.7%(昨年度の本校67.0%よりも0.3ポイント低い。) ○(県62.7%よりも4.0ポイント。宇都宮市63.7%よりも3.0ポイント高い。)
	②自主学習ノートの活用	○家で、学校の授業の予習をしている。52.3%(昨年度の本校42.1%よりも10.2ポイント高い。県44.0%よりも8.3ポイント高い。宇都宮市45.5%よりも6.8ポイント高い。) ○家で、学校の授業の復習をしている。70.3%(昨年度の本校65.2%よりも5.1%高い。) ●(県73.6%よりも3.3ポイント低い。宇都宮市72.5%よりも2.2ポイント低い。) ○家で、テストで間違えた問題について勉強をしている。72.1%(昨年度の本校69.6%よりも2.5ポイント高い。県66.7%よりも5.4ポイント高い。宇都宮市68.7%よりも3.4ポイント高い。)

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
(1)『わかる授業』のより一層の推進に向けて ①「本時の目標(めあて, ねらい)」の提示を95%以上にし、習慣化を図る。	①「本時の目標(めあて, ねらい)」の確実な提示	①毎時間の学習課題に即した「本時の目標(めあて, ねらい)」の提示を、毎時間、確実に行う。
②授業で使うノートの効果的な活用を図り、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめが書かれている生徒の割合を85%以上にする。	②効果的なノートの活用	②-1 教科担任によるノートの確認などを通して、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書かせる指導を充実させる。 ②-2 教科担任による板書の工夫と、学習の定着を図った効果的なノートの活用法の指導を充実させる。
③授業における、生徒同志の話し合い活動の更なる充実を図る。	③話し合い活動の積極的な導入	③各教科担任による話し合い活動の充実だけでなく、学級担任による学級活動の活性化も図る。
④生徒間の話し合い活動をより一層充実させ、考えを深めさせたり、広げたりすることができている生徒の割合を85%以上にする。	④生徒の考えを引き出し、思考を深められる(主体的に考えられる)発問の工夫	④教科担任による教材研究の充実と、「一人一授業」の公開による教師間の学びあいを通じた、授業力の向上を図る。
⑤学習内容の振り返りを習慣化させる。	⑤「ふりかえり」活動の徹底	⑤ワークシートやまとめのテスト、自己評価などを活用して、学習のねらいに即した振り返りを確実に実施する。

(2)家庭学習のより一層の充実に向けて		
①家の人と学習について話をしている生徒の割合を85%以上にする。	①学習に対する家庭の関心を高める工夫	①三者懇談、教育相談、学校だより、学級だよりなどを活用した学習に関する情報提供を充実する。
②予習、復習などの計画的な家庭学習を、より一層充実させる。	②自主学習ノートの点検、アドバイス、賞賛	②-1 学級担任による、家庭学習の内容の点検と、コメントの記入等による助言を行い、誉める指導を充実する。 ②-2 優れたノートの学年の廊下への掲示と、小学校への紹介を行い、実践例の紹介を通して、自主学習ノートの活用と工夫を促す。
③「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている」生徒の割合を更に増加させ、学習内容の効果的な定着を図った復習を実施させる。	③家庭学習の仕方を明示、説明	③-1 教科担任からの復習方法の助言と個に応じた指導を充実する。 ③-2 本校独自の「家庭学習の手引き」を活用し、保護者にも家庭学習の方法を紹介し、家庭学習の充実を促す。